

卓 話

平成 28 年 5 月 24 日

『 ガバナー補佐訪問 挨拶 』

岐阜Aグループ ガバナー補佐 山口八郎 様

3 回目のガバナー補佐訪問にまいりました。一言あいさつを申し上げたいと思います。2015～2016 年度国際ロータリーRI 会長ラビ・ラビンドランさんから「世界へのプレゼントになろう」のメッセージが発せられました。この中で RI 会長は「私たちに与えられた時は今です。この機会は2度と訪れるものではありません」のメッセージを受けて、岡田ガバナーは、「過去、現在・今、行動するロータリアン～会長賞に挑戦しよう～」の地区活動方針が示されました。これらの方針に従って各クラブにお願いしてまいりました。クラブによっては、①存続年数 ②会員数が多いか少ないか ③活動内容がどのようなものか によってその取扱いについては多少異なっていると思われましたが、これらの活動方針に従って処理されてきたものと思われま



ると思われましたが、これらの活動方針に従って処理されてきたものと思われま

このような活動方針に基づいてガバナー補佐として任命されましたが、早くもその任期が終了しようとしています。ガバナー補佐の職務としては、岡田ガバナーと岐阜 A グループの5クラブとの間における活動が効果的に運用されるようにサポートすることだと思ひます。これらのガバナー補佐としての職務が全うできるように、岡田ガバナーをはじめとするスタッフの皆さんの配慮により、ガバナー補佐研修セミナー、次期地区委員会委員長研修セミナー、地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー、地区研修、協議会等の会議が幾多にわたり開催されてきました。これらの研修会、会議を通じてロータリーをより理解し、どのようにロータリーを運営したらよいか、役務職務は何か等の研修が行われたことで、充実したロータリー活動ができたと思ひます。

また、ガバナー補佐の在任中は、12名のガバナー補佐の皆さんの温かいロータリーの絆によって、任務を果たすことができました。ガバナー補佐を経験したことによって感じたことは、「奉仕活動はロータリアン一人一人の考え方があり、大きな枠組みとしての方向づけはあるとしても、奉仕の理念で結ばれた人々が世界理解、世界親善、世界平和を推進してきたことは間違いではない。」ということです。

今後とも永久不滅として将来にわたってロータリー活動は続くものと思われま

時代が来ても、奉仕団体として輝き続けることを祈りながらあいさつとします。

最後に色々とお届けのことがあったかと思ひますが、皆さまにはこの1年間お世話になりありがとうございました。